

# 市立岸和田市民病院（大阪府）

## 病床数

400床

## 病院の特徴

大阪府南部の泉州医療圏の最大基幹病院として、急性期に特化した高度専門医療と救急医療を診療の柱として運営している。23の診療科を有して総合的な診療機能を堅持し、質の高い先進医療の実践を目指している。ICU/CCU、救急病棟、放射線治療、PET/CT、化学療法センターなどの設備があり、心臓手術、造血移植療法等も行っている。また、救急診療科を中心に全科を挙げて、365日24時間ER型の救急医療を展開している。1993年に臨床研修病院に認定され、1998年には日本医療機能評価機構による高評価の認定を受けた。2002年には、地域がん診療連携拠点病院に指定され、名実ともに地域医療の中核病院となった。

## 医師数

103名(2011年2月1日現在)

## 初期研修医定員 1年次

単独型 5名(2010年実績)/たすきがけ 2名(2010年実績)

## ” 2年次

単独型 4名(2010年実績)/たすきがけ 1名(2010年実績)

## 処遇

身分:嘱託医(研修医)

給与:年額 1年次:3,840,000円 2年次:4,416,000円

保険:社会保険・労働保険:あり

宿舎:あり(民間マンション 借上げ、宿舎費20,000円と光熱費は個人負担)

## 研修プログラムの特徴

医師としての基本的姿勢、倫理、使命感、人類愛を養成するとともに、すべての臨床医に求められる基本的医学知識と技術を修得することが目的。研修環境としての特徴は、豊富な急性期の症例数、救急医療の充実、大病院に比肩する医療設備、検査設備、充実した教育設備にある。臨床のすべての専門科を備え、地域の最終的な総合病院としての使命も果たしている。研修医の定員を少なくすることにより密度の濃い指導をめざし、選択科目としてほとんどの臨床科の選択が可能で、研修医の多様な希望に応える。中規模病院の特徴を生かして、各診療科間の円滑な連携のもとにチーム医療を実践できる。

## 指導医から学生さんへのメッセージ

研修責任者・循環器内科専門医・部長(京大卒)／松田 光雄氏

当院では、医師研修制度において目標となっている「プライマリ・ケアの幅広い修得と参加型の研修」を達成するために次のことを実施している。(1)中規模病院であるので、研修充実のため1科に研修医ひとりがまわる少数型を導入し、8名を年次総定員とする、(2)救急医療を重要視するため、救急診療科で1年次2ヶ月、2年次1ヶ月研修する以外にも、全研修期間を通じて救急当直に参加する、(3)プログラムの内容でも、前述の目標に沿うように内科6ヶ月、救急2ヶ月、麻酔科1ヶ月、外科6週間、脳神経外科2週間を必修とし、研修医の希望により小児科または整形外科を1ヶ月選択とする。また2年次には地域医療で在宅医療を中心に活動している近隣病院と診療所での研修を1ヶ月実施、救急診療科1ヶ月、精神科研修及び産婦人科研修も合計1ヶ月実施し、他の期間は選択とした。(4)研修システムの進化も重要と考え、相互評価を活発(部長、看護師長による研修医評価及び研修医による各科プログラムの評価)にし、研修内容の改善につながるよう研修医の要望の聴取と、研修の達成度の評価・管理を毎月実施、(5)臨床の場での研修だけではなく専門医による各科のトピックス講義として、内科系・外科系レクチャーを2週ごとに、救急診療に役立つ話題提供としてモーニングレクチャーを毎週実施。以上のような方針と内容で運営しており、今後もさらに内容の充実に努め、実力のある医師を育てていきたいと考えている。

## 研修スケジュール(年間)

市立岸和田市民病院臨床研修プログラム 研修スケジュール例 (平成22年度採用者用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(循環器・消化器・呼吸器・血液腫瘍・糖内分泌) 6ヶ月						外科系(外科・脳外) 2ヶ月		小児科または整形外科を選択 1ヶ月	救急診療科 2ヶ月		麻酔科 1ヶ月
2年次	救急診療科 1ヶ月	地域医療 1ヶ月 ※1	精神科 0.5ヶ月 及び産婦人科 0.5ヶ月 ※2	選択科目(上記の診療科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、皮膚科、形成外科、放射線科、病理診断科、小児科、産婦人科、精神科) 9ヶ月								

【備考】 ローテーションは順不同。可能な限り1科に1人となるよう配慮しています。

※1. 地域医療は、0.5ヶ月×2協力病院(診療所)または1ヶ月×1協力病院で研修をします。

※2. 精神科及び産婦人科は協力病院で研修をします。